かみしほろ 議会だより
開かれた町民みんなの議会をめざします
編集：上士幌町議会 議会だより編集特別委員会
第193号　令和3年4月

一般質問

第1回定例会　（令和3年2月）

▼4名の議員より一般質問がありました

今回の一般質問の様子は、上士幌町議会ホームページ第1回定例会2月15日（月）録画中継【午前分】【午後分】から視聴できます

小中学校校舎に冷房設備の設置を

山本　和子　議員

問 世界的な気温の上昇は、危機的な状況である。暑い中での授業は大変であり、早急に冷房設備を設置するべきである。

○録画中継２月１５日【午前分】５分頃～

答 短期間ではあるが、大型扇風機などを取り入れ、対策してきた。

服装、水分補給、時間割の工夫など対応いただくとともに引き続き検討してく。

問 上士幌小学校では、校長先生が「教職員で対応するしかない」と、総意工夫されている。

ＰＴＡの声も含め、どのように把握しているのか。

答 連合ＰＴＡからも「何とか子ども達に快適な環境で学習させたい」との声を複数年聞いている。

莫大な経費がかかるので、工夫して何とか乗り越えることができないか考えている。

問 全国はもちろん道内でも設置が進んでおり、寿都町、小清水町はすでに１００％である。士幌町は令和２年度に認定こども園、小中高で設置しているし、今後もどんどん進んでいくと思う。本町の認定こども園の状況も確認する。

５月議会は、政策予算が出されるので、新たな政策として、国の補助金の活用も含めて検討段階に入るべきである。

答 士幌町はすでに設置し、幕別町、陸別町も予算化されていると聞いている。今後、場所の選定も含めて検討に入っていくと思う。

道立高校は、今年度中に保健室だけ設置することし、上士幌高校は、2月10日以前に設置したと把握している。

認定こども園は、0、1、2歳児と午睡室に設置済みだが、他は設置していない。

●上小が行う暑さ対策

安心して医療が受けられるために

山本　和子　議員

問 「健康で長生きしたい」そのためには本人の努力も必要であるが、どんな時でも「安心して医療が受けられる」ことが必要である。3点、質問する。

①国民健康保険証とマイナンバー

3月から保険証とマイナンバーの一体化がスタートした。今後、免許証や銀行口座などを一本化し、ゆくゆくは社会保障の給付削減をねらうものである。

カードの押し付けをせずに、サービスの削減等に利用されないように国に要望するべきである。

答 カード申請はあくまで、本人の意志によるものである。国が進める行政デジタル化において避けられないツールと思われる。

問 ②国民健康保険税の軽減

令和４年度から未就学児の均等割（1人あたり）が半減になる予定だが、軽減分の４分の１は町負担分なので、全額国の負担にするよう、また対象を未就学児以外にも広げるように要望するべき。

答 これまでも町村会を通じて、要請してきた。今後も機会あるごとに要請を継続していく。

問 ③無料・低額診療事業

生活が苦しく、通院を控えている方が、指定された医療機関（十勝勤医協帯広病院、白樺医院、帯広第一病院、帯広協会病院、音更病院等）を受診した場合、無料・低額で受診できる。その周知と相談をしっかり行うこと。

答 今までも情報の提供を行ってきた。今後も生活が苦しいため、通院を控えることがないように周知していく。

福祉灯油の継続、充実を

山本　和子　議員

問 福祉灯油は、平成30年度から町独自に3年間の事業として、実施してきた。今年度で終了するが、今後も継続するべきである。

また、消費税引き上げや物価の値上がり、年金の引下げ等、ますます生活が大変になっている。今の1万円を2万円にするなど、引き上げも検討するべきである。

答 継続の判断は、政策事業として次期の判断になるものと考える。

コロナの収束が不透明な中にあり、命や暮らしを守る施策は、今後も必要になると理解する。

問 生活保護ぎりぎりで頑張っている方もいる。病院代もかかるし、あと2、3万円あればすごく助かるという切実な声もある。

ぜひ次期政策に入れ、その際、金額を引き上げられないか。

答 様々な形で、低所得者などに対する福祉施策は、必要だとは思うが、何でも現金給付で解決するのはどうかとの前提がある。

また、金額を増やすことがいいのか、まさに政策的な判断になる。

問 本当に困っている方は、声をあげ辛い。ストーブをつけるのを我慢している方もいる。

こういうところにこそ、手厚い援助が行くようにすべきである。

答 今、三愛計画などを策定中だが、総合的にどのような施策がいいのか、行政の大きな課題として考えていく。

用語解説

「三愛計画」とは・・・

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい福祉計画を一体的な計画とする。３年を計画期間とし、令和３年度から新たな計画として策定。上位に総合計画・総合戦略がある。

大学、専門学生等の支援について

小椋　茂明　議員

○録画中継２月１５日【午前分】１時間１分頃～

問 昨年6月に決定し実施された、上士幌町がんばる学生応援給付金は90名の申請があり、多くの町出身の学生が在学している事が分かった。

大学等を取り巻く環境は依然として厳しく、生活費を補うアルバイトは減少されたままで、授業料や家賃は保護者が教育ローンなどで工面してる例が多い。

継続して行うべきと思うが、町の考えは。

答 感染症の長期化により、学校生活や日常生活に影響を受ける事が想定される。感染状況や国、道の動向に注視しながら、学生が将来の夢と志を持ち、可能性に挑戦できるよう検討していく。

問 少子化の中でも大学生は全国で過去最多の数となっている。その内、感染症の影響を受けて中退、休学した者が合わせて5千人以上いるとの報告がある。

答 生活が厳しいとの声は聞いている。こういった学生に何かもっとアプローチする方法はないかと思っている。

問 保護者の負担に関しての町内状況を調べた。町内2金融機関とJA合わせると、分かる範囲で28件程の教育ローンや引出し等が確認された。実際にはかなりあると思う。

答 そういった可視化されたものが見えてくれば次に打つ手も見えてくると思う。

問 昨年の給付に関して、対象校を学校教育法に定める大学等にした事で対象にならない学生がいた。柔軟に対応すべきでは。

答 今後、その範囲も含め改めて検討していきたい。

●町出身の学生に支援を

教育現場に係るコロナ禍の影響の検証とその対策及び働き方改革について

江波戸　明　議員

○録画中継２月１５日【午前分】２時間２分頃～

問 コロナ禍による家庭への経済の影響などを踏まえ、就学援助に係る認定基準を緩和すべきである。

答 就学援助制度については、実施要綱の見直しを行い、コロナ禍の影響による休業、離職などで収入が減少した世帯に対して、認定基準を緩和するなどの緊急支援を実施する。

●教育現場の働き方改革を

問 小中学校の長期にわたる一斉休校の判断は、地域状況で判断し、地域に影響なく実施すべきである。

答 一斉休校については道や道教委の要請、要望を受け止め実施したが、現在は出来る範囲で学校の運営の継続を優先すべきと判断をしている。

今後における一斉休校に関しては、町教育委員会の判断と責任とする。学びの場を止めない工夫により学校を継続すべきという考えで責任をもって判断し対応する。

問 教職員の保障のない時間外勤務は、１年単位の変形労働時間制度の導入により、夏・冬休みの中で保障するとされているが、時間外勤務の多い現状から、適切に実施することが出来るか確認する。

答 道教委から時間外勤務の対応に関する確認があり、町教育委員会として「実施」すると回答した。

しかし、現状の在校勤務時間の内容管理、休憩時間の確保など実施に対する問題点が多いことから情報を再確認しながら実施に向けては対応せざるを得ないところである。

教職員、職員団体との話し合いや学校内業務の点検と見直しを確認し、実施する時期を見極めなくてはならないと判断する。

上士幌町とＪＩＣＡ（国際協力機構）との交流について

中村　哲郎　議員

○録画中継２月１５日【午後分】３９分頃～

問 昨年８月、ＪＩＣＡの訓練生が本町に来られ、様々な体験、自主的な活動を通して町民との間に友好的関係が生まれた。

今後もこの受入れを継続し、町民との交流を深めてはどうか。

答 今回のＪＩＣＡ訓練生の受入れは「まちづくり会社」の提案で実現した。コロナ禍ではあったが、高校生との「町の困りごと解決」の企画等で町民とも積極的に関りを持った。こうした体験や実践は、派遣側、受入れ側の両者にとって貴重な財産になったと思う。

今後は今回接点ができた諸団体との関りを大切にし、将来「オンライン交流」や「国際理解教育事業」等、実現の可能性に期待している。

問 ＪＩＣＡ訓練生と本町の学生との交流を更に深め、語学やＩＣＴはもとより、考える力や国際感覚を身に付けられるような教育に展開してはどうか

答 ＩＴ、ＩＣＴの加速に伴い、ＧＩＧＡスクール構想も一気に進展し、１人１台端末やインターネット環境も整備している。また、本町では、今年度からＩＣＴ推進教諭を配置し、教職員研修や子どもたちの学習支援を行うなど、より良い方法を検討、実証をしている。

今回、上士幌町を訪れた訓練生はグローバル社会に自らの意思で挑戦し、帰還後、その成果を生かし活躍する方々であり、そのような方々と繋がりを持つことは、新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」のための教材となると考えている。このような受入れは今後とも行っていきたいと考えているので、ぜひ協力をお願いしたい。

●よさこいで町民にお別れ
（タウシュベツ川橋梁にて）

コロナ禍での防災訓練の継続について

中村　哲郎　議員

問 昨年９月５日、コロナ禍で防災訓練が実施され、防災計画も改定された。

今後は更に今までとは勝手が違う状況が想定されるため、継続的かつ定期的な防災訓練が必要と考える。今後の予定を伺いたい。

答 令和３年度の防災訓練の実施計画としては、役場庁舎被災時に円滑な災害対策本部活動を行うための「災害対策本部訓練」を７月中旬頃に、町民を対象とした防災訓練は、９月上旬頃に行う予定。

内容としては、本年度と同様の訓練を進める他、感染症予防対策として、コロナ禍における避難所開設方法について実施することとしている。

問 「分散避難」等の新しい考え方についてお教え頂きたい。

答 現在、コロナ禍で推奨されている「分散避難」（３密を避けるために自宅での在宅避難、親戚や知人宅、宿泊施設、自家用車等の車中泊等、避難所ではない場所に避難すること）については、防災訓練等の機会を利用するとともに、町広報誌やホームページ、「防災ガイドマップ」へ掲載する。

「上士幌町地域防災計画」については、国や道の見直し状況を鑑み、適時修正を行う予定。

問 「分散避難」時には、今より個々への情報伝達が必要と考えるが、その対策は。

答 タブレット端末配布や一斉情報配信システムの整備、更には今後開発されるアプリによる双方向の情報伝達やその訓練等が効果を発揮すると考えている。

交付金をはじめ、予算を効果的に活用していきたい。

用語解説

「ＩＣＴ」とは・・・

直訳は「情報通信技術」だが、「情報通信技術の使い方」と説明されることがある。

通信技術を使って、「人とインターネット」、「人と人」がつながる技術のことを指す。

「ＩＣＴ」の活用事例として、インターネットを使った情報の共有や検索、メールの利用や通信販売の利用などがある。

令和３年第１回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】令和３年２月１５日～３月５日（19日間）

【議員の出欠】
２月１５日出席１１人・欠席０人
３月　５日出席１１人・欠席０人

※主な結果を掲載しています。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果
議案第１号	令和２年度上士幌町一般会計補正予算（第１０号） ⇒１億3360万８千円を減額し107億6030万７千円に補正。	２月１５日	賛成１０ 反対　０	原案可決
議案第２号	令和２年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算（第５号） ⇒164万５千円を追加し７億4129万７千円に補正。			
議案第３号	令和２年度上士幌町後期高齢者医療特別会計補正予算（第４号） ⇒360万円を追加し１億983万１千円に補正。			
議案第４号	令和２年度上士幌町介護保険特別会計補正予算（第５号） ⇒190万円を減額し６億1756万４千円に補正。			
議案第５号	令和２年度上士幌町水道事業特別会計補正予算（第４号） ⇒156万９千円を減額し１億9189万９千円に補正。			
議案第６号	令和２年度上士幌町公共下水道事業特別会計補正予算（第４号） ⇒1948万９千円を減額し２億776万円に補正。			
議案第７号	上士幌町居辺地区集中バイオガスプラント設置及び管理に関する条例の制定について⇒地域農業の持続的発展・農業集落の環境保全を図るため設置。	３月　５日		
議案第８号	上士幌町バイオマス関連事業基金条例の制定について⇒家畜ふん尿を核とした資源・エネルギーのリサイクルシステムの構築経費に活用する基金。			
議案第９号	上士幌町健康増進センター条例の一部を改正する条例の制定について⇒入浴料金を減免し、令和６年３月31日まで大人300円、中人100円とする。	２月１５日		
議案第１０号	上士幌町農業技術研究センター条例の一部を改正する条例の制定について ⇒施設名称を食品加工センターと改め、使用料を現行基準に合わせる。			

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果
議案第１１号	**上士幌町消防団条例の一部を改正する条例の制定について**⇒機能別消防団員を導入し、消防団の災害対応能力の向上及び団員の確保を図る。	2月１５日	賛成１０ 反対　０	原案可決
議案第１２号	**工事請負契約の変更について**⇒上士幌消防庁舎外構整備工事のうち植栽及び点字ブロックを取りやめ、契約金額を 244 万２千円減額する。			
議案第１３号	**権利放棄について**⇒水道使用料 144,160 円を破産手続き廃止決定、法人の任意整理手続き終了、債権者死亡、債務者の所在不明等により権利放棄する。			
議案第１４号	**令和３年度上士幌町一般会計予算** ⇒ 80 億 9237 万１千円	※令和３年度予算の詳細は、広報かみしほろ４月号（先月号）「まちの予算」をご覧ください。	3月　５日	賛成　９ 反対　１	
議案第１５号	**令和３年度上士幌町国民健康保険特別会計予算** ⇒７億７９６万３千円			賛成１０ 反対　０	
議案第１６号	**令和３度上士幌町後期高齢者医療特別会計予算** ⇒１億６８３万４千円				
議案第１７号	**令和３年度上士幌町介護保険特別会計予算** ⇒６億３５６４万９千円				
議案第１８号	**令和３年度上士幌町水道事業特別会計予算** ⇒２億４２４７万２千円				
議案第１９号	**令和３年度上士幌町公共下水道事業特別会計予算** ⇒２億７７７４万１千円				
議案第２０号	**上士幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について**⇒新型コロナウイルス感染症の定義を改める。				
議案第２１号	**上士幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について**⇒新型コロナウイルス感染症の定義を改める。				
議案第２２号	**上士幌町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について** ⇒新型コロナウイルス感染症の定義を改める。				
議案第２３号	**上士幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**⇒厚生労働省令が改正されたため、本町条例を改正する。				
議案第２４号	**上士幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**⇒厚生労働省令が改正されたため、本町条例を改正する。				
議案第２５号	**上士幌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**⇒厚生労働省令が改正されたため、本町条例を改正する。				
議案第２６号	**上士幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**⇒厚生労働省令が改正されたため、本町条例を改正する。				
議案第２７号	**上士幌町三愛介護サービス事業給付条例の一部を改正する条例の制定について**⇒介護報酬の改定により、一部の事業単価及び利用者負担額を改定。				
議案第２８号	**上士幌町中小企業融資条例の一部を改正する条例の制定について**⇒新型コロナウイルス感染症の定義を改める。				
議案第２９号	**令和２年度上士幌町一般会計補正予算（第１１号）** ⇒ 1024 万円を追加し 107 億 7054 万 7 千円に補正。				
議案第３０号	**令和２年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算（第６号）** ⇒ 808 万 4 千円を追加し 7 億 4938 万 1 千円に補正。				
監報告第１号	**例月出納検査報告について**⇒検査した結果相違ないことの報告。		―	報告済
監報告第２号	**定期監査報告について**⇒「公共工事」「財産の管理状況等」を対象に実施し、適正な執行を確認し、指摘事項はないことの報告。			

◆傍聴される方へのお願い（新型コロナウイルス感染症対応）

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、傍聴の際は次のことをお願いいたします。

1　議場及び委員会室に入られる際には、入り口に設置しております消毒液をご利用ください。
2　マスクを着用してください。
3　体調がすぐれない場合は、議場及び委員会室での傍聴をお控えください。
（インターネットライブ中継をご利用ください。）

常任委員会開催状況

令和３年　１月～３年　３月

◆行政側協議事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文	○	保健福祉課	令和３年度上士幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金の活用	2/3
2		○		新型コロナウイルス感染症対策	
3		○		上士幌クリニック及び老健かみしほろへの支援	
4		○		サポートセンター白樺施設改修工事	
5				後期高齢者医療特別会計の予算補正	
6				介護給付費等の予算補正	
7				三愛介護サービスの予算補正	
8				上士幌町健康増進センター条例の一部改正	
9				国民健康保険特別会計の予算補正	2/3 2/24
10				第４期上士幌町地域福祉計画（案）	2/24
11				上士幌町三愛計画（案）	
12				三愛介護サービス事業給付条例の改正	
13				上士幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	
14				上士幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	
15				上士幌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	
16				上士幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	
17				新型コロナウイルス検査費用助成事業実施要綱	
18				上士幌町災害時要援護者支援実施要綱の一部改正及び上士幌町避難行動要支援者名簿取扱要領の制定	
19	総文	○	企画財政課	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	2/3 2/24
20		○		再生可能エネルギー地産地消の取り組み	2/3
21		○		生涯活躍のまちの取り組み	
22		○		ふるさと納税の取り組み	
23		○		企業誘致事業	
24		○		上士幌スマートタウン推進・関係人口創出事業	
25		○		おでかけ確保対策（地域公共交通網形成）の取り組み	2/24
26	総文	○	総務課	指定避難所における電源確保対策の推進等	2/4
27	総文	○	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症対策に係る生涯学習課の補正予算対応	2/3
28	総文		消防課	上士幌町消防団条例の一部を改正する条例の制定	2/3

常任委員会開催状況

令和３年　１月～３年　３月

◆行政側協議事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
29	総文		町民課	高齢者安全運転支援事業	2/3
30	総文		町民課	町内防犯カメラ整備事業	2/3
31	総文		町民課	上士幌町老朽化施設解体撤去促進事業補助金交付要綱の一部改正	2/3
32	総文		町民課	ごみアプリケーションの導入	2/3
33	総文	○	教育推進課	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育推進課の補正予算	2/24
34	産経	○	商工観光課	新型コロナウイルス感染症に係る経済対策（観光業関係）	2/4 2/25
35	産経	○	商工観光課	ＤＭＯ推進事業	2/4
36	産経		商工観光課	ぬかびら源泉郷スキー場の支援	2/4
37	産経		商工観光課	上士幌ゴルフ場利用促進事業	2/4
38	産経		商工観光課	上士幌町創業促進支援事業	2/4
39	総文		商工観光課	移住定住・二地域居住事業	2/4
40	産経		農林課	農業集落環境管理施設の整備及び運営	2/4
41	産経		農林課	農業技術研究センター改修事業	2/4
42	産経		農林課	北海道猟友会上士幌支部補助交付要綱の一部改正	2/4
43	産経		農林課	上士幌町林業・木材産業経営合理化推進事業補助	2/4
44	産経		農林課	耕畜連携消化液利用促進事業	2/4
45	産経		農林課	ナイタイ高原牧場の管理運営	2/4
46	産経		建設課	水道使用料の権利放棄	2/4
47	産経		建設課	上士幌町消防庁舎外構整備工事の設計変更	2/4

◆行政側報告事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文		総務課	上士幌町強靭化計画の策定	2/4
2	総文		保健福祉課	生活支援体制整備事業	2/24

総文とは：総務文教厚生常任委員会のこと。
産経とは：産業経済建設常任委員会のこと。
公開とは：各委員会の所管事項について、異なる委員会の委員も参加し、審査・調査等すること。

◆その他

No.	主催	公開	種類	テーマ	日付
1	産経		付託事件審査	議案第７号　上士幌町居辺地区集中バイオガスプラント設置及び管理に関する条例の制定　（令和３年２月15日付託）	2/25
2	産経		付託事件審査	議案第８号　上士幌町バイオマス関連事業基金条例の制定（令和３年２月15日付託）	2/25
3	総文		所管事務調査	地域の医療、福祉及び介護の調査の関すること	3/1
4	総文		所管事務調査	その他総務文教厚生の調査に関すること ・わっか・ふれあいプラザ	3/1
5	産経	○	所管事務調査	安心・安全な農畜産物の生産・販売の調査に関すること	3/5
6	産経	○	所管事務調査	商工・観光振興の調査に関すること	3/5
7	産経	○	所管事務調査	公共工事の調査に関すること ・食品加工センター　・消防庁舎	3/26

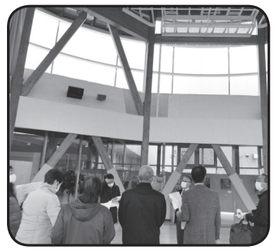
～こんな調査しました～

総務文教厚生常任委員会

「新型コロナウイルス感染症」対応行政備品等の調査に関すること

【渡部信一議員記】

３月１日、本委員会は新型コロナウィルス対策（地方創生臨時交付金）によって予算措置した改修事業、備品及び利活用の状況などを確認するため、生涯学習センター（わっか）と健康増進センター（ふれあいプラザ）の視察を行い、担当職員に案内と説明をいただきながら確認をしました。



●わっかの換気対策を確認

●図書の消毒方法

「わっか」では新生活スタイルでの運営活用状況、予算措置したプレイルーム及び会議室の換気設備の改修が完了しており、夏の暑さ対策としても有効性が期待でき、利用者は安心して「わっか」を利活用していただけるものと思います。

図書館においても、図書内部まで殺菌できる消毒機が運用されています。新しい生活様式の形成を目的にしたＬＡＮ・Ｗｉ－Ｆｉの環境整備など、これらの整備は「ふれあいプラザ」においても完了しており、今後ＷＥＢ会議や研修会、社会教育事業などへの展開が期待できます。

●入浴時の状況の説明

「ふれあいプラザ」においては、町民の健康を守る拠点としての役割を担う施設であり、備品、浴場を含めてあらゆる工夫がされていました。

まだまだ、いつになったら終息するのかさえ見通せないコロナウイルス感染症に対し、私達個々人が新しい生活様式を守り防いでいくということがテーマになっていくでしょう。

本委員会としても、町民の安心、安全を第一に考えていくことの重要性を認識したところです。

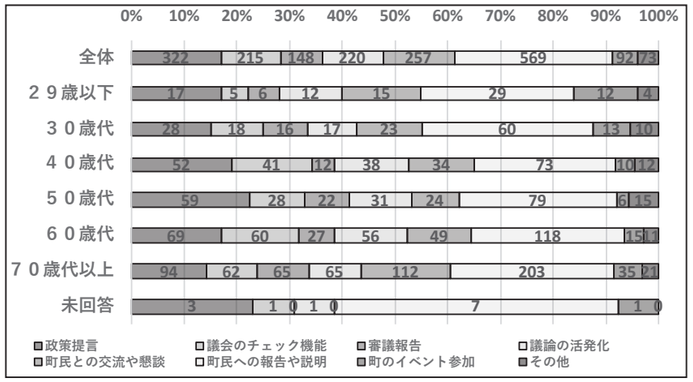
「町議会に関するアンケート」結果分析のお知らせ

今回は「議会アンケート」を「共通の質問」についての回答を年代別、男女別、職の有無別に分析し、そこから見える課題や改善目標についてまとめました。

また、「自由記載」については２００件近くの貴重なご意見を頂きました。これらにつきましても真摯に受け止め、今後の議会ならびに議員活動に活かしていきたいと思っております。

改めて「議会アンケート」へのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

問 13　議会や議員に期待していることは何ですか？（２つまで選択可）



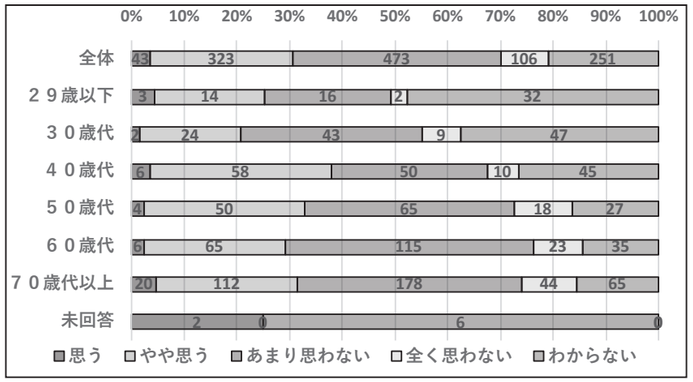
分ること（課題）

○「町民への報告や説明」(30.0%）が最も多く、女性の割合がやや高かった。
○男性は､「政策提言」や「チェック機能」など（42.7%）を求めている。
○その他の意見が 50 項目弱と、多くの期待が示された。

目標・目指す姿 解決・改善策

○議会での活動（政策提言やチェック機能）を、今後も充実していく。
○町民との意見交換会など、交流や報告の場を増やすための検討を行う。
○その他の意見を精査し、今後の議会運営の参考としていく。

問 14　町民の声が議会に反映されていると思いますか？（１つを選択）



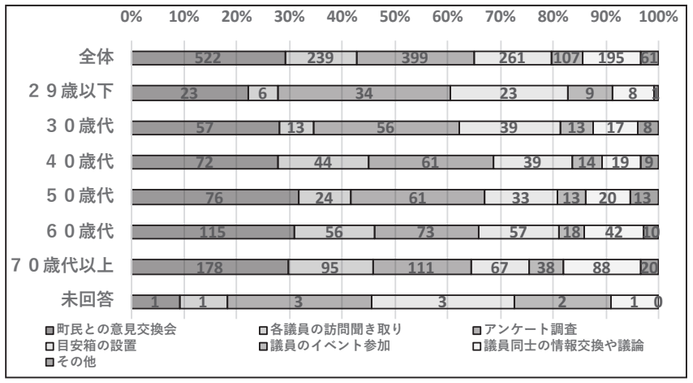
分ること（課題）

○今回の質問は「議会に反映」の基準が明確でなかった。
○約半数が､否定的な評価だった。
○否定的な評価は、年代が高くなるほど割合があがっている。
○若年層は「分からない」との回答が約半数であった。

目標・目指す姿 解決・改善策

○回答内容に不明な部分があったが、若年層への情報発信の必要性を認識し、評価が高くなるよう検討していく。
○高齢層の否定的な評価の分析を進める必要がある。

問 15　町民の声が議会に反映されるためにはどうすればよいと思いますか？（２つまで選択可）



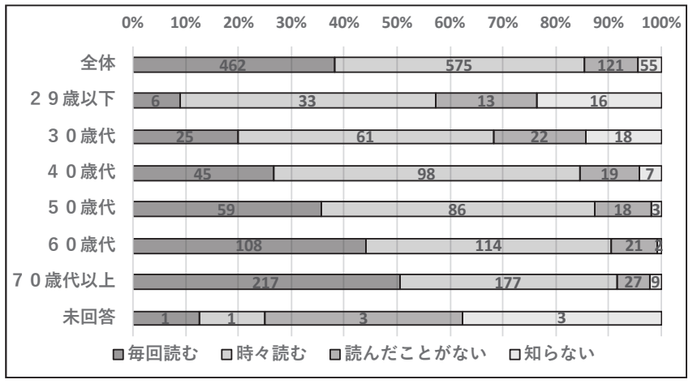
分ること（課題）

○問 14 の改善策として、「町民との意見交換会」の実施（29.3%）が最も多かった。
○全年代を通して、「意見交換会」の要望は高い。
○若年層や女性、有職者は、アンケートや目安箱などでの意見反映も望んでいる。

目標・目指す姿 解決・改善策

○意見交換会の実施に向けて検討するとともに、意見交換会の開催時にリモートの実施ができるかを検討する。
○議会活動の見える化により、町民との接点を増やしていく。
○多くの意見が集まる工夫のため、目安箱などを活用していく。

問 16 「議会だより」をご覧になりますか？（１つを選択）



分ること（課題）

○全体で 85.5％が読んでいると回答。
○議会だよりを知らいないと回答した方が 55 名いる。
○読まれる割合は、年代が高くなるほど割合が上がっている。
○少数ではあるが、「読んだことがない」と回答した女性（12.1%）が､男性（7.7%）の 1.5 倍いる。

目標・目指す姿 解決・改善策

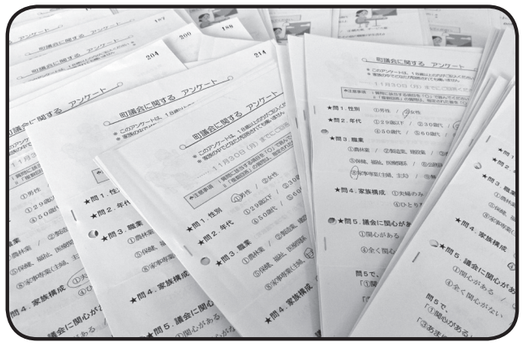
○議会だよりの認知度 100%を目指すため、配布方法を含め検討が必要。
○毎回読まれるよう議会だよりの充実を検討する。
○ＳＮＳとの連携を検討する。

用語解説

「ＳＮＳ」とは・・・

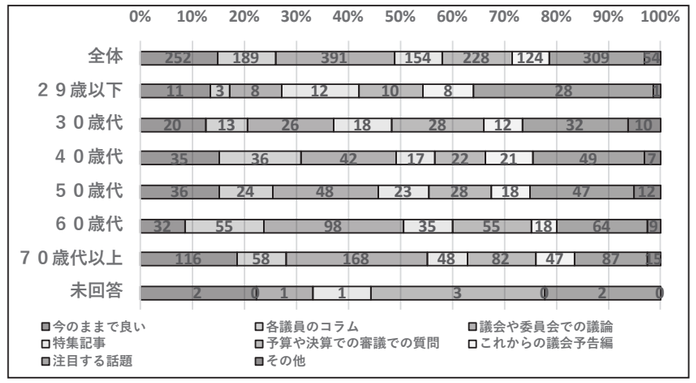
「ソーシャルネットワーキングサービス」の略称。共通の趣味、職業、地域性等を有する人同士を結びつける社交場を容易に構築できるインターネット・サービスのこと。

代表的なものは、Twitter（ツイッター）、Instagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック）、YouTube（ユーチューブ）など。



●１，２５１名の方から回答をいただきました。

問 17 「議会だより」にあると良いと思う内容は何ですか？（２つまで選択可）



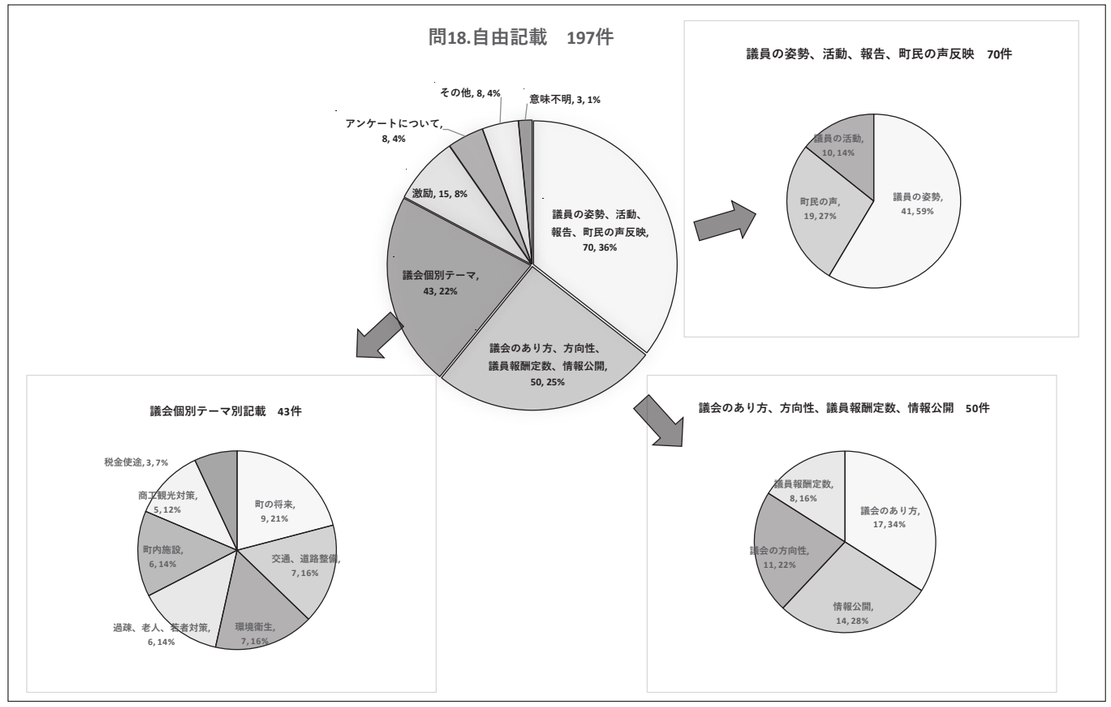
分ること（課題）

○ 78.1％の方が、新たな掲載方法を望んでいる。
○議会での議論（予算・決算を含む）経過の掲載は、40％以上が希望している。
○その他の意見が 50 項目弱と、新たな提案を含め記載があった。

目標・目指す姿 解決・改善策

○本会議の結果だけでなく、将来の計画や過去の事業など、町民の関心が高い事業に対して審議状況や検証状況を特集できるよう検討していく。
○分かりやすい言葉を用いた紙面を目指す。
○紙面を充実し、町民に毎回読まれるようになり、広報から自立した冊子として発行できるよう努力していく。
○多くの意見が集まる工夫のため、目安箱などを活用していく。

問１８　議会活動に対するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。



１８７名の方からご意見をいただきました。複数の意見もあったことから、全１９７件としました。

全てのご意見を議員全員が確認し、１９７件を大きな分類に分け、「議員の姿勢、活動、報告、町民の声」は、今後の議員個々の活動の資料、「議会のあり方、方向性、議員報酬定数、情報公開」は、議会として取り組むべき内容、「議会個別テーマ別記載」は、常任委員会での対応資料とすることとしました。

～こんな調査しました～

産業経済建設常任委員会

公共工事の調査に関すること【中村哲郎議員記】

令和３年３月２６日、産業経済建設常任委員会の所管事務調査の一環として公共工事完了に伴い「議員公開委員会」で視察を行いました。視察対象は、①食品加工センター（旧農業技術研究センター）ならびに②新消防庁舎の２箇所、各担当職員から説明を受けました。

●乳加工室

●農産加工室

食品加工センターは、旧農業技術研究センターにおいて行われていた自家消費の食品加工や商品開発を、より効率的に行えることを目指し、改修工事が行われ、このたび完了しました。

これにより、最新の製造、加工、包装設備が設置され、対応品目も多くなりました。更に最大の特徴としては、食肉、乳、農産の３つの加工室に分けたことで、製造したものを商品として販売できる手続きが可能となりました。

今後、上士幌町の農畜産物の更なる付加価値利用や商品開発ならびに販売が期待され、視察時点で５月までの利用予約があるとのことでした。

新消防庁舎は、狭隘化ならびに消防機能の充実化に伴い、計画から約３年、令和２年５月に着工し、この度完成しました。

●消防事務室

●消防車庫

敷地面積 4,164㎡、延床面積 1,524㎡の新庁舎には、ゆとりのある明るい車庫、静粛性の高い非常用発電機、十勝管内初の消防団員の出動準備室などの新しい設備に加え、緊急時の機能的動線の確保などが備わり、災害時の新たな拠点ならびに訓練施設として生まれ変わりました。更に、トレーニング室や研修室なども新設され、町民の集いの場としての活用が期待されます。

ぎかい日誌

令和３年２月～令和３年４月

【２月】
１日◆議会全員協議会
◆議会だより編集特別委員会
◆議会運営委員会
３日◆総務文教厚生常任委員会
４日◆総務文教厚生常任委員会
◆産業経済建設常任委員会
１０日◆議会運営委員会
１５日◆第１回定例会（１日目）
１７日◆予算審査特別委員会（１日目）
１８日◆予算審査特別委員会（２日目）
２４日◆第６期総合計画等調査特別委員会
◆総務文教厚生常任委員会
２５日◆産業経済建設常任委員会

【３月】
１日◆議会運営委員会
◆総務文教厚生常任委員会
５日◆第１回定例会（最終日）
◆議会だより編集特別委員会
５日◆産業経済建設常任委員会
◆議員協議会
２６日◆産業経済建設常任委員会

【４月】
２日◆議会運営委員会
７日◆議会全員協議会
◆第２回臨時会
◆議員協議会

議会だより編集特別委員会

委員	委員	副委員長	委員長	議長
馬場	山本	小椋	中村	杉山
敏美	和子	茂明	哲郎	幸昭

第３回議会定例会（予定）

5月１１日（火）・１２日（水）・３１日（月）
6月　１日（火）・　４日（金）

インターネットで生中継
https://www.kamishihoro.jp/gikai/
※ライブ中継のほか、録画中継も視聴できます。
議場への傍聴含めて、ぜひご覧ください。